

新井薬師前駅・沼袋駅周辺地区における駅前広場などの都市計画素案説明会概要について

■第1回

日 時	平成 23 年 3 月 23 日 (水) 19:00~21:00
場 所	沼袋地域センター
参加者数	100 名
主な質疑	<ul style="list-style-type: none"> ・新井薬師前駅周辺と沼袋駅周辺で道路幅員や歩道幅員が違うのはなぜか。 ⇒車道は双方とも 7 m だが、歩道は交通量や買い物空間を考慮して、沼袋は 3.5 m、新井薬師前は 2 m の計画とした。実際の道路断面構成は、今後実施段階で検討する。 ・沼袋駅を地下化した跡地は駅前広場として利用しないのか。西武鉄道が施設を建設するのか。 ⇒駅前広場の配置について、地下化後の上部利用を検討したが、その場合、駅出入口を現状より東側にずらす必要があり、利便性が低下するうえ、周辺の道路とも重なることから、南側のこの位置が適切と考えた。 ・東日本大震災が起こったこの時期に計画を進めてよいのか。国の財政状況を鑑み連続立体交差事業と切り離して基盤施設整備は一定期間凍結してはどうか。 ⇒連続立体交差事業はすでに動き出しており着実に行われるので、関連する基盤施設の事業も同時に推進していくことが大切なことと考えている。

■第2回

日 時	平成 23 年 3 月 24 日 (木) 19:00~21:00
場 所	上高田地域センター
参加者数	65 名
主な質疑	<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画の案作成後、意見を述べる機会はあるのか。その期間は、どのくらいを予定しているのか。 ⇒都市計画案作成後、公告・縦覧という手続きの中で 2 週間意見の提出期間を設けることになっている。本日、これに先立ち、計画の内容について説明を行っているものである。 ・東日本大震災を受けて、このような事業よりも震災復興や防災対策を優先すべきではないのか。 ⇒駅前広場や道路の整備は、まちの防災性の向上につながると考えている。安全で便利なまちづくりを進めるため、区として重要な事業と考えている。 ・補助 220 号線が整備後、バス路線は転換するのか。哲学堂通りは整備しないのか。 ⇒補助 220 号線と哲学堂通り双方で、バス交通等のネットワークを形成することが望ましいと考えている。哲学堂通りについては無電柱化を検討し、より安全で快適な道路としていく。